

センコーグループホールディングス株式会社が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、センコーグループホールディングス株式会社（以下「本法人」）が発行する第8回無担保普通社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2020年9月17日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本法人は、本債券の発行により調達する資金を、PDセンターの運営を通じた顧客の物流効率化の実現により輸送にかかわるCO₂排出量を削減するとともに、PDセンターにおける省エネと再エネ利用を通じたCO₂排出量削減を実現するため、岐阜羽島PDセンター、湾岸弥富PDセンターの建設費用に充当いたします。

グリーンボンドの発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンドガイドラインに定められている4つの要件（1.資金調達の使途、2.プロジェクトの評価と選定、3.調達資金の管理、4.レポーティング）に対応したグリーンボンドフレームワークを策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）による「グリーンボンド原則 2018」および環境省「グリーンボンドガイドライン 2020年版」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得し、「R&Iグリーンボンドアセスメント」において最上位評価である「GA1」の予備評価を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上